

1989-21

川嶋紀子さん、ここでも堂々のランク入り (日経)

Table with 4 columns: Rank, Name, Age, Title. Lists various public figures and their rankings.



星が輝きを失った理由
美里美寿々(ニュースキャスター)

Main text article discussing the decline of a star and the current era of women.



意志する女たちの時代
橋爪大三郎(東京工業大学助教授)

Main text article discussing the era of women with strong will.



お熱いカップル3組。巨人、西武が6人 (スポーツ紙)

Table with 4 columns: Rank, Name, Age, Title. Lists couples and their details.

Footnote and additional information for the couples table.

9月の人権

平成の秋は熱いムードでスタート
女性、東側政治家の活躍も目立つ

Main text article for the 9th month special, discussing social and political trends.

話題の組織改革、注目の人事 8月

Table with 2 columns: Company Name, Content. Lists organizational changes and personnel movements.

8月の人事データ

トヨタが課・係廃止、八百半週休3日制導入
8月は5月と並んで1年のうちで人事異動が最も少ない月だ。

今月から会社の顔 8月の主な新任社長

Table with 4 columns: Company Name, Name, Age, Birthplace. Lists new CEOs.

日経WHO'S WHOにみる人事異動 8月

Table with 2 columns: Category, Count. Shows personnel changes in WHO'S WHO.



PEOPLE & PEOPLE

内外の政治家が上位20人中17人 (日経)

Table with 5 columns: Rank, Frequency, Name, Age, Title. Lists 20 political figures including 海部俊樹 (Prime Minister), ブッシュ (President), ゴルバチョフ (Soviet PM), etc.



「現役の強み」と「退役の強み」の裏にあるもの 美里美寿々 (ニュースキャスター)

今月は2つの人チャートを見て「現役であること」の強みと「退役したことの強み」について考えてみました。現役の強みとは、突き詰めれば「肩書を持っていないこと」の強みである。

(注) 政経誌。対象は日本経済新聞(朝・夕刊紙)版、産業、流通、金融の日経4紙。見出しと冒頭の400字に含まれる主要人物を1記事ごとに1回と数えた。日経データバンク局NEEDS-IRによる。年齢、肩書は10月31日現在。なお事件の被害者(小津美寿子さん)はランキングからははずした。また、日本経済新聞朝刊「私の履歴書」に連載した山村隆一氏もランク外とした。



立役者のいなくなった神無月(10月) 橋爪大三郎 (東京工業大学助教授)

サンフランシスコで、M7-1の強烈な地震。東欧も連日、大揺れである。けれど日本は、嵐の前の静けさ。これから始まる選挙を前に、舞台の脇や裏手で囁きを潜めていく人が多い。



いというし、因縁の三木元首相ももういない。野党では、石橋政綱、竹入義勝、佐々木良作といった委員クラスの名氏がバツをを外す。

日本シリーズで巨人6人、近鉄3人 (スポーツ紙)

Table with 5 columns: Rank, Frequency, Name, Age, Title. Lists 20 sports figures including 藤田元司 (巨人監督),ロナルド・レーガン (米大統領), 海部俊樹 (首相), etc.

10月の人チャート 日経4紙 スポーツ紙5紙 見出し頻度データ スポーツ紙の主役が活躍した1カ月 新旧の政治家も華々しく紙面にぎわす 日本監督の巨人藤田三ツツコリ。前大統領のレーガンがスポーツ紙2位に

スポーツ文化関連のイベントがめじろおしの10月プロ野球、芸能界など身近な話題を追いかけるスポーツ紙5紙と、経済の総合情報の日経4紙の見出しにはどんな顔ぶれが登場したのか。さっそくランキングをみてみよう。

Three portraits with captions: 日本シリーズで本塁打11かにも中継手らしい (巨人監督), そのスマイル、どこまで通用するか、橋本元大臣 (政治家), 経済界にとって手ごわいビルス女史 (政治家)

1989-21 3/3

外国人政治家13人がランク入り、国内政治家5人を大幅に上回る(日経)

Table with 5 columns: Rank, Name, Age, Position. Lists 20 international and domestic politicians.

(注) 敬称略。対象は日本経済新聞(朝・夕刊)と、産経、流通、金融の4紙。見出しと冒頭の400字に含まれる主要人物を1記事ごとに1回と数えた。日経データバンク高NEEDS-1席による。年齢、肩書は12月5日現在。なお日本経済新聞朝刊「私の履歴書」に連載した西岡常一氏はランク外とした。



ソ連から東欧への肝臓移植は失敗に終わった

美里 美寿々(ニースキャスター)

今月の日経4紙は「よくもまあ、これだけ政治家ばかりが並んだものだ」と妙に感心したり、へんにソツとしたりしてしまいが、それだけに、東西を巻き込んだ世界の秩序が大きく変わりつつあることの証明なのだろう。それにしても、何かひとつくわしい情報に訴える名前が登場してもいいではないか。



東欧の地図が塗り変わり、世界の首脳は駆け巡る

橋爪大三郎(東京工業大学助教授)

情勢の変化は急である。あれよあれよと言う間に東欧の地図が塗り変わるようとしている。いま思えば半年以上も前に、この筋書きが、クレムリンの奥まった一室で検討されていたに違いないのだ。その政策変更が、助中したゴルバチョフから耳打ちされる。東欧の自由化が秒読みに入ったと知った部小平が中国首脳は、だから先手を打って、国内の自由化の動きを鈍くさせておかないと危ない、と思っただけではないか。



東独クレムリン前議長、改革を目指したが、すぐ辞任 神前結婚で厳かに第2の人生の出発をしたジュリー 元木をドラフト指名でさそく話題提供の田淵監督

日、ほうこうがんとするために急死した。遺作となった映画「ブラック・レイン」にはファンが押し寄せ、早すぎる死をいたんだ。

プロ野球開幕で野球関係者は10月の9人から4人に減少

(スポーツ紙)

Table with 5 columns: Rank, Name, Age, Position, Explanation. Lists 20 sports figures and their status.



11月の誕生石は「友愛」と「希望」を象徴するというトパーズ。身近な話題を扱うスポーツ紙5紙と、経済の総合情報の日経4紙の見出しにはどんな顔が登場し、どんな「希望」が報じられたのか。

1990年1月の人チャート

喜怒哀楽がはつきり分かれた1カ月 東欧に「遅い春」到来で海外の政治家活躍 5年振り球界復帰の田淵が1位。久米、聖子、アグネスは心乱れる?。平成のニューヒーローもランク入り

ダイエーホークスの、田淵新監督、ドラフト(プロ野球新人選手選抜会議)で巨人を、指名名、していた元木を指名、(正月気分だね)「サンズ」とご機嫌だ。一友、意中の巨人に振られて「悔し泣き」(報知ほか)した元木(5位)は、その2日後には田淵さん(2位)と現役の子の複雑なところを見せた。